

第 1910 回例会報告



◇会長告知◇

会長 小口 直久

皆さんこんにちは。本日もお忙しい中、例会にご出席いただき誠にありがとうございます。さて先週は、友好クラブである大津中央ロータリークラブより、山本進一会長、井上勝行副会長、岸本昇幹事、尉連春会長エレクト、そして久保俊彦ロータリー財団委員長をお迎えし、歓迎例会を開催いたしました。4月に入ってから

の急なご案内にもかかわらず、多くの会員の皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。

例会では「琵琶湖周航の歌」から始まり、記念品のプレゼントやそれぞれのクラブの活動報告を行い、最後には皆さんで記念写真を撮影いたしました。限られた時間ではありましたが、大変有意義で心温まる交流の場となったと感じております。

また当日の夜には浜の湯にて懇親会を開催し、例会とはまた違った和やかな雰囲気の中で、親睦を深めることができました。さらに二次会、三次会と交流は続き、大津中央ロータリークラブの皆様とも大変楽しく、実りある時間を過ごすことができました。

その中で「来年はぜひこちらから訪問したい」「再来年の御柱の際にはぜひお越しいただきたい」といったお話も生まれ、互いに再会を約束することができました。こうしたご縁を大切にしながら、今後もより一層交流を深めたいと感じております。ご協力いただいた会員の皆様に、改めて御礼申し上げます。

さて本日の例会は、社会奉仕委員会担当例会となっております。大澤会員による卓話「我が人生に悔いなし パート3」を予定しております。これまでのパート1、パート2を拝聴してきた中で、本日のパート3も大変楽しみにしております。大澤会員、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◇幹事報告◇ 幹事 成山秀幸

【連絡事項】

1. 来週 30 日と 5 月 7 日は休会、5 月 10 日に里山整備となり、次回の通常例会は 5 月 14 日となります。
2. これから皆様へご案内を送りますが、5 月 24 日に諏

令和 8 年 4 月 23 日(木)晴

訪湖 RC ゴルフコンペ春の陣を行います。とんねるやさんと懇親会も予定しておりますので、ぜひ皆様出席をお願い致します。

【受領文書】諏訪湖通信



【出席報告とニコボックス】

出席報告		ニコニコボックス	
		利用人数	今回の金額
会員数	33 人	9 人	16,000 円
出席対象	31 人	前回累計	597, 000 円
出席者数	19 人	累計	613, 000 円
出席率	61.3%	目標額	70 万円
前回修正出席率	%	達成率	87.7%

ニコニコメッセージ

先週の大津中央ロータリークラブとの歓迎例会、並びに親睦懇親会では、多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。そして本日は、社会奉仕委員会担当例会で、大澤会員による卓話であります。どのようなお話が伺えるのか大変楽しみにしております。本日も宜しくお願い致します。

小口直久

大澤兄貴あらためてこんにちは。今日は、-----シーン。静かに人生 NO3 を拝聴致します。又、いつの日か NO4 を聞きたいと思っておりますので、ずっと考えてください。

高山巖

パート3 楽しみにしていました。1, 2 回としっかりメモを取らせていただき私も人生に悔いが残らないように学んでいます。大澤さんよろしくお願い致します。 宮坂英貴

大澤さん本日はよろしくお祈いします。 萩田均

ロータリー入会以来 陰に陽に接してくれる大澤さん。卓話楽しみです。 高林一紀

人生の先輩としてまっすぐに生きてこられた大澤会員の卓話をお聞きして自分に吸収したいと思っております。本日は宜しくお願い致します。 宮澤孝良

本日は、我が諏訪湖ロータリークラブの大看板であります、大澤会員の卓話となります。大澤さんの人生論を拝聴する機会に一日千秋の思いでございました。楽しみにしております!!! 五味弾

本日は私のつたない卓話をお聞きいただき感謝申し上げます。 大澤邦彦

◇例会内容◇

社会奉仕委員会担当例会
大澤邦彦会員卓話

「我が人生悔いなし PART3」



皆さんにこんなに集まって頂き、期待され、必要とされていることに、感動しています。85を過ぎると、緊張しなくなりますが、皆さんの前で話すという、適度な緊張の場を与えてくれた五味委員長に感謝申し上げます。

今日何を話そうか考えた時に80年生きてきて感動した事を話した方が

がしゃべれると思い、青年会議所での事、そして武士道という日本の精神的な部分がなくなっているんじゃないかという話、また世界で戦争が終わりを見ませんが、日本は平和です。その平和は誰がもたらしたのか、そして最後に母の慈しみについて、この4つについて話したいと思います。

私は30, 31の時に下諏訪青年会議所の立ち上げに携わり、4代目の理事長に拝命させていただきました。経済人のトレーニングの場であったため、理事長は拒否させて頂いたが、あなたのリーダーシップが必要だと格好いい事を言われ、らちがあきません。そこで、「今、あなた方は私の良い所しか言わないが、私の短所を申し述べてくれ」と言った所、「個性が強すぎる」と言うんです。そう言われたら、やってやるぞという気持ちになり、「私の短所をカバーしてくれたらやります」という事になりました。

3代目の理事長が新設優秀青年会議所にエントリーし、惜しくも敗れましたが、私の代までエントリーできたので引き継ぎました。そこで何をやろうか考えた時に、諏訪湖浄化を重点事業としてスタートさせました。その当時は本当に諏訪湖が汚く、月1回1日ばかりで清掃を行いました。また、夏には異臭がすごく、合成洗剤を使わない、廃油の制限、そして、諏訪湖にトンボ作戦、泳げる諏訪湖作りというイメージ作戦を行いました。今はどうでしょう。諏訪湖はとても綺麗になり、感無量です。その事業を基に、新設優秀青年会議所を頂きました。壇上で賞を頂いた時は何とも言えなかったです。

一年が終わりに近づいた時、岡谷下諏訪諏訪茅野の4名から、ブロック長をやれと言われました。まだ3年しか経ってないクラブがブロック長をやるなんて聞いた事が無い、と言われましたが、まだ未熟だった私はやると言ってしまう。その後あった選挙で、相手が突然降りてしまい、晴れて私がブロック長となりました。

人間誰にも運があるが、その運をつかみ取れるか、又はその運を見過ごしてしまうか、私は掴んだと思います。それは一生懸命情熱を持っていて、情熱が熱意に替わって、相手を刺激し、相手が支えてくれるということです。おかげさまで皆様の支えで1年間ブロック長をさせていただ



いた中でよく覚えているのは、長野県は海

無し県ということで、積極的な考えが多い。だから歩いて地域を回って、たすきリレーをするという事業をやりまし

た。最後の10月の大会で彼らがたすきを掛けて壇上に登った時、本当に感動しました。社

専務のような青年が、たすきを掛けて町を歩くのはつまらない事です。そのつまらない事を出来たのが、青年会議所時代でした。私を推薦してくれた菊池君達とは、JCを通して数ヶ月前に知り合ったばかりでした。その彼がどうして私を推薦してくれたのか。

禅の言葉に「縁尋機妙(えんじんきみょう)」というのがあります。良い縁は向こうから尋ねてきてくれる。先ほど話した運と同じです、その縁をつかむ、そして一生懸命やるということです。縁に気付かない人もいますが、縁に気付いて、大切にすることが大事だと思います。

話変わって、人間には、後天的記憶と本能的記憶があるそうです。後天的記憶はイメージ、想像する部分です。一方、本能的記憶は、母親の慈しみによるものです。母親は子供がお腹の中にいる時、元気に生まれてきてほしいとお腹をなでる、それが魂となって出てきます。その母親の慈しみを返そうと、生きる力となって成功した人がたくさんいます。

私もおふくろを楽にさせてあげようと頑張ってきた気がします。

私は兄と妹とおふくろと、終戦前に下諏訪へ疎開してきました。おふくろは、いつも大きな荷物を背負って、行商で私達を育ててくれました。そんなおふくろもH10.5.10に亡くなりました。今までよく頑張ったねと、おふくろに褒めてほしかったです。

(一部抜粋し、掲載させていただきました)



今では綺麗になった
諏訪湖の清掃

平福寺花便り

牡丹 (小林聖仁会員撮影)

